沖縄総合事務局 広報誌／第420号

Muribushi

むりぶし
群星

2025
7月 8月号
July-August
隔月発行

特集

ミナミバンドウイルカ 「オキちゃん」「ムク」飼育50年達成記念式典を開催

Muribushi

420号 July-August

1 連載企画 沖縄歴史の散歩道 Vol.19

2 特集 **ミナミバンドウイルカ 「オキちゃん」「ムク」飼育 50 年達成記念式典を開催**

4 仕事の窓 1 令和６年度における沖縄地区の独占禁止法等の運用状況 ～沖縄で起きた事件の概要を紹介します～

7 仕事の窓 2 行政財産の有効活用に向けた取組について

8 仕事の窓 3 セグロウリミバエの緊急防除について ～家庭菜園でのウリ科野菜の栽培自粛のお願い～

9 仕事の窓 4 ご存知ですか？「消費者の部屋」 ～今年度の取組、夏休み特別講座について～

10 仕事の窓 5 新たな「食料・農業・農村基本計画」の策定を踏まえ、県内の幅広い関係者の皆様と意見交換を行いました！

11 仕事の窓 6 「お米について」消費者ｗｅｂセミナーを開催しました！

12 仕事の窓 7 沖縄黒糖の消費拡大に向けて ～沖縄の自然の恵みがぎゅっと詰まった８島の沖縄黒糖～

13 仕事の窓 8 カーボンニュートラルに向けた取組 ～沖縄における水素社会の幕開け～

14 仕事の窓 9 【官民共創】地域課題解決型スタートアップ支援事業 ～自治体職員向けグループワーク～

仕事の窓 10 中城村と保育人材確保の課題に挑戦するスタートアップ企業が連携協定を結びました

15 仕事の窓 11 国道 331 号南城市久手堅地区の無電柱化整備が完成しました！

16 仕事の窓 12 ダムまつりを開催します！ 森と湖に親しむ旬間（7 月 21 日～ 31 日）

17 仕事の窓 13 令和７年度陸運及び観光関係沖縄総合事務局長表彰式が行われました

18 仕事の窓 14 たのしい親子自転車サイクリング体験！ ～那覇第２地方合同庁舎初の休日開放～

なかゆくい おしごと紹介・採用担当のひとこと

19 内閣府だより 内閣府沖縄担当部局では、「かりゆしウェア」の普及・促進に取り組んでいます。

20 お知らせ① 13th 沖縄大交易会 2025

21 お知らせ② 水上オートバイに乗るときは忘れないで！

表紙写真

沖縄美ら海水族館（海洋博公園）のミナミバンドウイルカ「オキちゃん」と「ムク」が今年で飼育50年を迎えました。

表紙の写真は、沖縄美ら海水族館の「オキちゃん劇場」でショーを繰り広げる5頭のイルカたちが息の合ったジャンプをする瞬間の写真です。（真ん中が「オキちゃん」）

今号では、飼育50年を迎えたことを記念し開催された式典を特集しておりますので、こちらも是非お楽しみください。

イルカショーのご案内

開催日 開園日は毎日開催

開始時間 10時30分・11時30分・13時・15時・17時

◀オキちゃん劇場について詳しくはコチラ

本誌のタイトルについて 群星（むりぶし）とは、沖縄の方言で「昴星（すばるぼし）」のことで「ぶりぶし」、「むるぶし」とも呼ばれます。

沖縄歴史の散歩道 vol.19

◆墓を巡る⑤

琉球史研究家の上里隆史氏が沖縄の歴史文化の魅力を本誌上で連載しています。

沖縄の歴史上、無数の墓が築かれてきましたが、そこに葬られた遺骨からその人物の様子やドラマをうかがい知ることができます。貝塚時代（約2300年前）の木綿原遺跡（読谷村）から板状の岩で遺骨を囲った箱式石棺墓が複数見つかっています。そのなかで、ひたいにシャコ貝がのせられていた状態の人骨が確認されました。ひたいには陥没した傷が確認されており、生前、鈍器のようなものでダメージを受けてできたと考えられています。どうやらシャコ貝に傷を癒す何らかの呪術的な力があると考え、負傷した箇所に置かれたようなのです。現在でもシャコ貝やスイジ貝を魔除けにする風習が沖縄には残っています。

木綿原遺跡 第5号箱式石棺墓（第9号人骨）（読谷村）
（世界遺産座喜味城跡ユンタンザミュージアム提供）

勝連グスク（うるま市）の三の郭の城壁付近からは14～15世紀頃の幼児の骨が1体、見つかっています。体を折り曲げた状態となっており、通常とは異なる埋葬方法といえます。こうした事例は越来グスク（沖縄市）や浦添グスク（浦添市）でも確認されていますが、目立った墓標もなくグスク内の地中に葬った理由はわかっていません。いずれにしても埋葬者は特別な存在であったことは間違いないでしょう。

勝連城跡出土 埋葬人骨（うるま市）
（うるま市教育委員会提供）

波照間島の大泊浜貝塚からは、約1000年前の母親と生後まもない赤ちゃんの墓も見つかっています。島の北側の砂丘、西表島を見渡せる場所に彼女らは埋められていました。女性は20代前半と推定され、体はうつぶせになり両手は腹部にあて、ひざは折り曲げられていました。そして赤ちゃんは母親のふとももに接する形で葬られていました。さらにシャコ貝や土器が副葬品として埋められ、墓のかたわらには大きなサンゴの塊が置かれていました。おそらく墓標でしょう。

これらの状況から、母親と生まれた赤ちゃんは出産後まもなく亡くなり、親子はともに葬られたことがわかります。この時、残された父親はどうしていたのでしょうか？彼女らに供えられた副葬品は、父親の手によるもので、土器は2人が生前使っていた生活道具だったのかもしれません。こうした悲しい歴史も墓からまた見えてくるのです。

浦添城跡出土 埋葬人骨（浦添市）
（浦添市教育委員会提供）

上里 隆史
（うえざと・たかし）

琉球史研究家。内閣府地域活性化伝道師。法政大学沖縄文化研究所研究員。早稲田大学大学院修士課程修了。著書に『琉球という国があった』（福音館書店、2020年）、『海の王国・琉球』（ボーダーインク、2018年）、『マンガ沖縄・琉球の歴史』（河出書房新社、2016年）、『尚氏と首里城』（吉川弘文館、2015年）など。NHKドラマ「テンペスト」時代考証や、NHK「ブラタモリ」案内人などメディアでも活躍。

ミナミバンドウイルカ「オキちゃん」「ムク」飼育50年達成記念式典を開催

「オキちゃん」「ムク」飼育50年達成

沖縄美ら海水族館（海洋博公園）のイルカショーで活躍し続けているミナミバンドウイルカの「オキちゃん」と「ムク」が令和7年5月1日で飼育50年を迎えました。2頭のイルカは1975年の沖縄国際海洋博覧会より海洋博公園内で飼育され、世界最長の飼育記録を更新中です。イルカの健康を支えているのは、長年蓄積した高い飼育技術と目の前の海から供給される豊富な海水です。飼育50年を記念し、「未来に繋ぐ、これまでと・これから」をテーマに、オキちゃん劇場にて記念式典や特別ショーを実施しました。

飼育50年達成記念式典概要

令和7年5月5日（月・祝）に海洋博公園オキちゃん劇場において、「オキちゃん」「ムク」の飼育50年を迎えたことを記念する式典（主催：沖縄美ら島財団※）が開催されました。

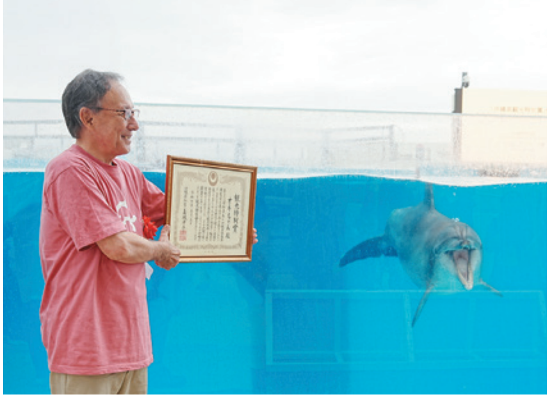
※沖縄美ら海水族館やオキちゃん劇場を含むエリアは沖縄県が国の許可を受けて管理し、（一財）沖縄美ら島財団が指定管理者として施設を運営

① 沖縄観光特別賞授与

玉城知事より観光振興に多大な貢献をしたとして新たに創設した「観光特別賞」を授与しました。

② 本部町観光アンバサダー委嘱及び特別住民票交付

平良本部町長より「本部町観光アンバサダー」の委嘱状を贈るとともに、「特別住民票」を交付しました。



玉城知事より「観光特別賞」を授与されるオキちゃん

本部町長より「特別住民票」を交付されるムク

③ 命名者への記念品授与

海洋博公園の管理者である沖縄総合事務局の三浦局長より「オキちゃん」の命名者（当時小学生）へ記念品を贈呈しました。

三浦局長より「オキちゃん」命名者へ記念品授与

④ 特別イルカショー

創作芸団レキオスによるエイサー演舞とイルカショーを組み合わせた50周年記念演出ショーを2回開催し、約1900人の観覧者がこの日限りの特別イルカショーを楽しみました。

そのほか、（一財）沖縄コンベンションビューロー下地会長からししゃも50キロがプレゼントされました。

湧川理事長による主催者挨拶

創作芸団レキオスとの特別イルカショー

世界最長の飼育記録を持つ「オキちゃん」

名護高校吹奏楽部によるファンファーレ演奏

飼育50年記念パネル展「～未来に繋ぐ、これまでと・これから～」

過去のイルカショー映像や数々の貴重な写真、歴代トレーナーのショー衣装などを展示し、沖縄観光のシンボルとしてオキちゃんとムクが歩んだ50年を振り返ります。

期間：令和7年5月5日（月・祝）～
令和8年4月30日（木）

会場：海洋博公園
水の階段レストハウス

飼育 50 年記念パネル展の様子

オキちゃん ♀

1975 年、沖縄国際海洋博覧会のため沖縄へ。50 年間イルカショーで活躍を続けてきた。大病もなく健康で最前線で活躍するまさにスター。

ムク ♂

オキちゃんと同じくして沖縄へ。長くイルカスタジオでのダイバーショーで活躍。現在は、体験プログラムで人と動物の距離を縮める役割を担う

お問合せ先
開発建設部　建設産業・地方整備課
☎098－866－1910

令和６年度における沖縄地区の独占禁止法等の運用状況
～沖縄で起きた事件の概要を紹介します～

総務部 仕事の窓 No.1

今年６月に沖縄総合事務局総務部公正取引課が公表した、令和６年度における沖縄地区の独占禁止法、景品表示法及び下請法の運用状況をご紹介します。

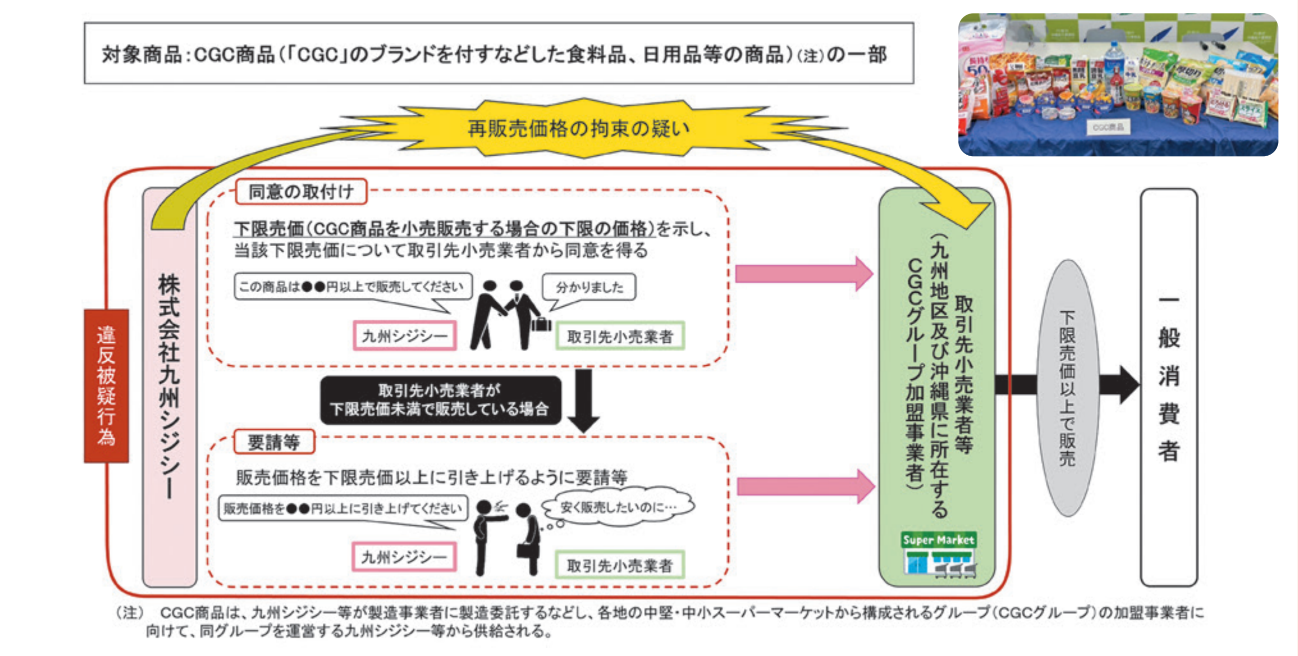
独占禁止法

自由経済社会において、事業者が事業活動を行うに当たって守るべき基本ルールを定め、公正かつ自由な競争を促進するために、自由な競争を妨げたり、不公正な競争手段を用いて競争したりすることを禁止しています。

←沖縄地区における独占禁止法の運用状況の詳細はこちら

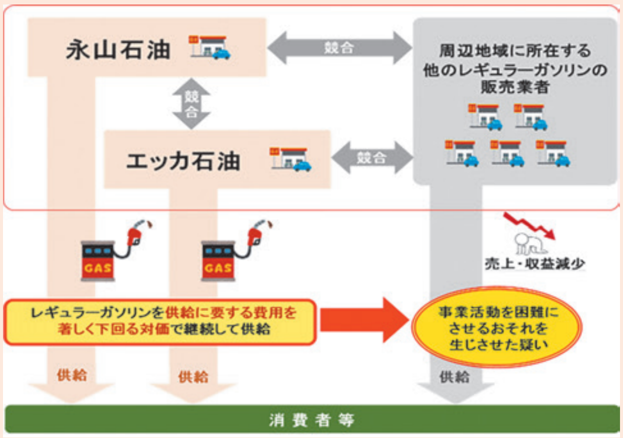
○ 再販売価格の拘束

株式会社九州シジシーは、遅くとも令和3年4月以降、「CGC」のブランドを付すなどした食料品、日用品等の商品の一部について、九州地区及び沖縄県に所在する取引先小売業者等（取引先小売業者）に対して、下限売価（取引先小売業者が小売販売する際の下限の価格をいう。）を示し、当該下限売価について取引先小売業者から同意を得るとともに、取引先小売業者が下限売価を下回る価格で販売している場合には販売価格を下限売価以上に引き上げるように要請するなどして、下限売価以上で販売するようにさせている疑いがある。



○ 不当廉売

永山石油株式会社及びエッカ石油株式会社の2社は、それぞれ、沖縄県沖縄市及び同県中頭郡北中城村に所在する給油所において、令和6年2月1日から同年6月 30 日までのうちの一定期間、レギュラーガソリンについて、その供給に要する費用を著しく下回る対価で継続して供給し、当該給油所の周辺地域に所在する他のレギュラーガソリンの販売業者の事業活動を困難にさせるおそれを生じさせた疑いがある。



景品表示法

一般消費者の利益を保護するために、商品やサービスの品質、内容、価格等を偽って表示を行うことを厳しく規制するとともに、過大な景品類の提供を防ぐために景品類の最高額等を規制することなどしています。

←沖縄地区における景品表示法の運用状況の詳細はこちら

○ 有利誤認表示（葬儀サービスに係る表示）

株式会社那覇直葬センターは、「直葬プラン」又は「火葬プラン」と称する葬儀サービス（本件役務）を一般消費者に提供するに当たり、以下の表示媒体で、有利誤認表示していた。

<日刊新聞紙の折込チラシ>

本件役務の提供に当たって、個室で遺体と面会する場合でも7万 7000 円以外に追加料金が発生しないかのように表示していた。

実際には、個室で遺体と面会する場合には個室の料金が追加で発生し、加えて、当該個室に供花又は仏具を置く場合には供花又は仏具の料金が追加で発生するものであった。

▲追加料金が発生しないかのように表示していた

<自社ウェブサイト>

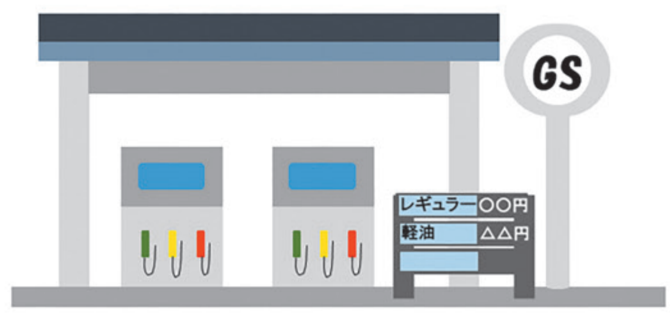
「通常価格」と称する価額は、同社において本件役務について通常提供している価格であり、実際の提供価格が当該通常提供している価格に比して安いかのように表示していた。

実際には、「通常価格」と称する価額は、同社において本件役務について提供された実績のないものであった。

▲実際の提供価格が、同社で提供された実績のない「通常価格」に比して安いかのように表示していた

○ 有利誤認表示（ガソリンスタンドのサインポールに係る表示）

A社は、A社が運営するガソリンスタンドのサインポールにおいて、レギュラーガソリン及び軽油（本件2商品）について、それぞれ「レギュラー○○円」、「軽油　△△円」などと表示することにより、あたかも、本件2商品の表示価格が誰にでも適用されるかのように表示していたが、実際には、表示された価格は「□□カード」と称する会員カード及びA社が発行している割引チケットを使用する者に限定して適用されるものであった。



▲図はイメージ
誰にでも適用されるかのように表示していたが、実際は会員カード・割引チケット使用者限定だった

有利誤認表示とは

商品又は役務の価格その他の取引条件について実際のものよりも取引の相手方に著しく有利であると一般消費者に誤認させる不当表示であり景品表示法で禁止されている。

次のページでは県内で起きた下請法の事例を紹介します!
写真で紹介した、独占禁止法教室や懇談会、説明会のご依頼も待っています!

「どっきん」

お問合せ先　総務部公正取引課　☎ 098－866－0049

下請法

下請取引の公正化と下請事業者の利益保護を図るため、下請代金の支払遅延、減額等の親事業者（おやじぎょうしゃ）の不当な行為を禁止しています。

←沖縄地区における下請法の運用状況の詳細はこちら

○ 下請代金の支払遅延の禁止

Web コンテンツの制作等を下請事業者に委託している B 社は、一部の下請事業者に対し、支払期日を定めていないことから、下請事業者の給付の受領日が支払期日とみなされるところ、当該支払期日までに下請代金を支払っていなかった。

○ 下請代金の減額の禁止

建物の清掃等を下請事業者に委託している C 社は、下請事業者と書面で合意していないにもかかわらず、下請代金を下請事業者の金融機関の口座へ振り込む際の手数料を下請事業者に負担させ、支払うべき下請代金の額から差し引くことにより、下請事業者の責めに帰すべき理由がないのに、下請代金の額を減じていた。

○ 買いたたきの禁止

荷主から請け負う貨物の運送を下請事業者に委託している D 社は、労務費、エネルギーコスト等の運送業務に係るコストが上昇したため、下請事業者が取引価格の引上げを求めたにもかかわらず、価格転嫁をしない理由を書面、電子メール等で回答することなく取引価格を据え置いていた。

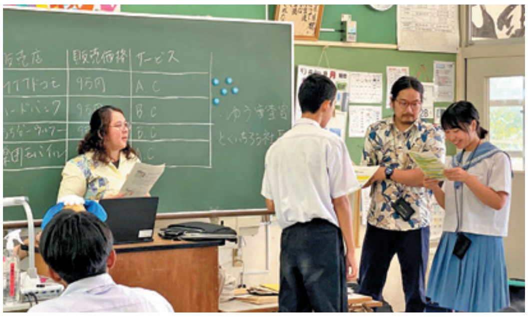
○ 不当な経済上の利益の提供要請の禁止

機械装置の製造等を下請事業者に委託している E 社は、自社が所有する金型を下請事業者に貸与しているところ、当該金型を用いて製造する部品の発注を長期間行わないにもかかわらず、下請事業者に当該金型を自己のために無償で保管させていた。

5・6月号でも紹介したように、この3法やいわゆる**フリーランス法、官製談合防止法**等の普及・啓発及び効果的な運用に資するための活動も積極的に行っています。ご相談や講師派遣のご依頼などありましたら、お気軽にご連絡ください。

▲私が説明します?!

▶**有識者との懇談会**で出た意見を施策に活かしていきます！



▲**独占禁止法教室**では、生徒と一緒に模擬立入検査、模擬事情聴取をします！

財務部　No.2　仕事の窓

行政財産の有効活用に向けた取組について

財務省並びに関係省庁は、国の行政財産（庁舎や宿舎など）を活用し、地域貢献や脱炭素社会の実現など多様な政策課題等に対応するべく、取組を進めています。

庁舎の空きスペースや宿舎駐車場の一画などを、地方公共団体や民間の事業者様に様々な用途でご利用いただくことが可能（有償）となっております。

EV 用充電器（福岡合同庁舎）

シェアサイクル（福井春山合同庁舎）

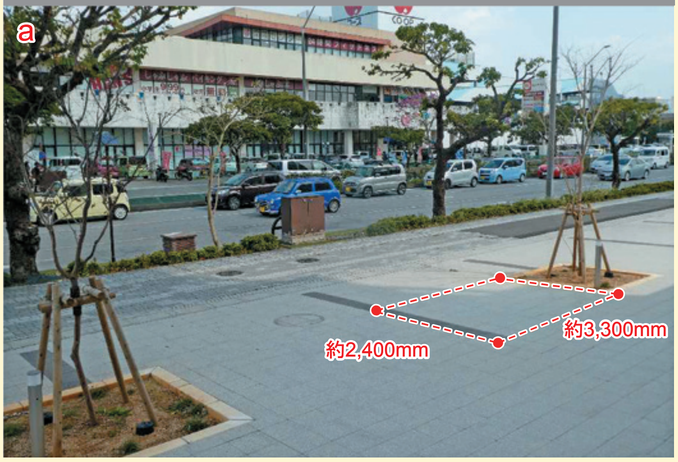
沖縄総合事務局管内の有効活用を検討している庁舎の空きスペースの情報については、沖縄総合事務局のホームページ（下記の二次元バーコード）をご覧頂くか、左記までお気軽にお問い合わせ下さい。

お問合せ先
財務部　管財総括課
☎098－866－0096

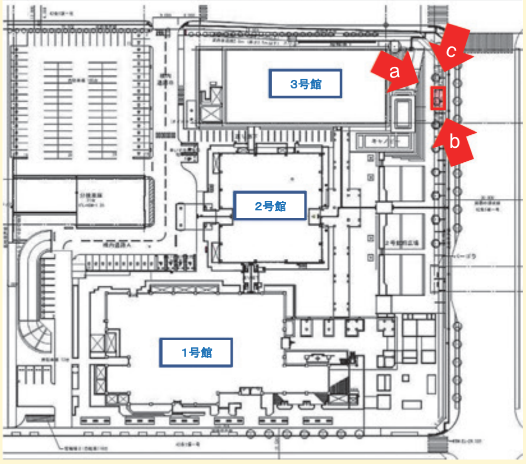
空きスペース情報を公開している庁舎

財産名称　那覇第2地方合同庁舎　検討箇所庁舎⑯（3号館）正面付近　15

現況写真



写真撮影位置図



那覇第２地方合同庁舎の空きスペース（一例）

- 約 7.92 ㎡の敷地
- 幹線に面しており、視認性が高い

○那覇第２地方合同庁舎
（沖縄県那覇市おもろまち２丁目１番１号）

○土地改良総合事務所
（沖縄県豊見城市字伊良波６２２）

○平良地方合同庁舎
（沖縄県宮古島市平良字下里馬場１０１６-６外）

農林水産部 No.3 仕事の窓

セグロウリミバエの緊急防除について

～家庭菜園でのウリ科野菜の栽培自粛のお願い～

セグロウリミバエについて

セグロウリミバエは、中国、台湾、インド、東南アジア等に広く分布し、主にウリ科植物の生果実を加害することが知られています。主な寄主はウリ科（ゴーヤー、ヘチマ、カボチャ、トウガンなど）ですが、海外では、トウガラシ、トマト、グァバ、インゲン、パパイヤなどにも寄生することが報告されています。

令和６年３月に、沖縄県が名護市に設置しているミカンコミバエ、ウリミバエの侵入警戒調査用トラップにセグロウリミバエが誘殺されました。

４月14日から緊急防除が開始

その後も沖縄本島北部及び中部地域でトラップ誘殺が継続して確認されたことから、本虫の根絶及び他地域へのまん延を防止するため、令和７年４月14日から植物防疫法に基づくセグロウリミバエの緊急防除が開始されました。緊急防除では、沖縄本島外への対象植物（ウリ科野菜等）の移動の制限、農林水産省、沖縄総合事務局、沖縄県、市町村及び関係機関が連携したテックス板（誘引剤と殺虫剤を染み込ませた木片）の設置等による同虫の防除を行っています。

ご協力をお願いします

これまで（令和７年５月末時点）、本島北部及び中部を中心に17市町村でトラップ誘殺が確認されています。誘殺されたトラップ周辺の寄主果実調査を実施した結果、これまでに12市町村で寄生果が確認されています。本虫が寄生した果実は、主に家庭菜園や収穫後に果実が放置された畑から発見されています。本虫のまん延防止のため、沖縄本島内の家庭菜園では、できるだけウリ科野菜の栽培を控えるようお願いしております。

引き続き、関係機関が連携して防除対策を実施しておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。

※セグロウリミバエに関する情報は、農林水産省植物防疫所及び沖縄県のホームページをご確認願います。

植物防疫所HP▼

沖縄県HP▼

セグロウリミバエ（体長約８～９mm）

設置したテックス板

お問合せ先
農林水産部　消費・安全課
☎098－866－1672

ご存知ですか？「消費者の部屋」

～今年度の取組、夏休み特別講座について～

沖縄総合事務局では、那覇地方合同庁舎2号館1階に「消費者の部屋」を設置しています。消費者の方々に食への関心を高めていただくことを目的に、常設・特別展示を行っているほか、SNS（X・Facebook）を活用し、農林水産行政の紹介や身近な食生活に関連する情報を発信しています。

消費者の部屋（出入口）

常設展示

「消費者の部屋」では、常設展示として農林水産行政や食生活に関連するパンフレット・食品サンプルの展示等を行っています。また、本冊子「群星」のほか、農林水産省の情報誌「aff」なども配布しています。

常設展示場

特別展示

「消費者の部屋」に隣接する行政情報プラザにおいて、農林水産業に関連する諸々の記念日や月間などに合わせて、関連する取組を紹介するパネル展示を特別展示として行っています。特別展示のスケジュールは当局HPやSNSでも公開していますので、ご確認ください。

特別展示の様子

夏休み特別講座

前年度に引き続き、今年度も「夏休み特別講座」として、小学生の皆さんとその保護者の方を対象に、牛乳工場・牧場の見学ツアーを開催することを計画しています。牛乳工場や牧場の見学を通して、普段、学校や家庭で飲んでいる牛乳についてより理解を深めていただきたいと考えています。日程や募集案内などの詳細は、追って当局HPやSNS等でお知らせします。皆様のご参加をお待ちしております。

是非、当局の「消費者の部屋」に足を運んでみてください。

7月・8月の特別展示スケジュール

時期	展示名	展示内容
7月7日～ 7月11日	農薬の適正使用について	6月～8月は「農薬危害防止運動」月間です。農薬の種類や農薬を使用する際の注意事項などパネルで紹介します。
7月14日～ 7月25日	沖縄の農林水産業と食の魅力発信に関する写真・動画展	沖縄の特色ある農林水産業者等の取組や伝統ある食文化の魅力等をパネルで紹介します。
8月6日～ 8月15日	おうちで予防できる！ 食中毒予防講座	食中毒予防のポイントを学んで、夏休みを元気にすごしましょう！
8月18日～ 8月29日	2025 年版ジュニア農林水産白書のご紹介	食べ物と日本の食料自給率との関係などが「Q&A」形式でやさしく解説されているジュニア白書を紹介します。

お問合せ先
農林水産部　消費・安全課
☎098－866－1672

農林水産部 No.5 仕事の窓

新たな「食料・農業・農村基本計画」の策定を踏まえ、県内の幅広い関係者の皆様と意見交換を行いました！

国内市場の縮小や生産者の減少・高齢化など、農業構造が大きく変化し、さらに昨今では、ウクライナ情勢や輸入食料・資材の価格高騰など、食料安全保障上のリスクも高まっている中、昨年6月に食料・農業・農村基本法が四半世紀ぶりに改正されました。また、ここ沖縄を含む全国11ブロックで開催された地方意見交換会等で議論を重ねた後、改正基本法に基づく新たな食料・農業・農村基本計画が4月11日に閣議決定されました。新たな基本計画では、農業者の確保と農地・技術を最大限活用して、食料自給力の確保を図るとともに、生産性や付加価値の向上、輸出拡大等により、海外から稼ぐ力の強化を進めることで農業経営の収益力を高め、農業者の所得確保・向上を図ることが位置づけられているところです。これらの具体的な施策を今後推進するに当たり、生産・加工・流通・販売に関わる皆様や消費者の皆様など幅広い関係者にご理解・ご協力いただくため、5月に全国11か所で地方説明会を開催し、16日には那覇市において、対面及びオンラインのハイブリッドで沖縄ブロックを開催いたしました。

地方説明会の会場の様子

本地方説明会では、農林水産省からの新たな基本計画の説明を受けて、参加者の皆様から離島ならではの事情を踏まえた今後の農業施策の推進など、現場の貴重な声を伺いました。

参加者の方々からの主なご意見

・離島でのドローン導入に当たって、導入費用が高額となるほか、利用可能な農薬が少なく、免許取得に係る規制も厳しいため、これらの課題への対応をお願いしたい。

・沖縄ではさとうきびが生活を支える基幹的作物であり、特に大東島のような国境離島は輸送上の制約などもあり、実質的にさとうきびしか作れない。新たな基本計画では、このような離島の実情等も踏まえて施策を推進して欲しい。

参加者との質疑応答

新たな基本計画を着実に実行し、食料・農業・農村の未来を築いていくためには、生産者、食品事業者、消費者の皆様など食料システムの関係者・関係団体間の相互理解と連携・協働が重要になることから、今後は沖縄管内におけるそれらの関係者・関係団体の皆様に新たな基本計画の周知や各施策の働きかけ等を進めていく予定です。

農林水産省担当者からの
新たな基本計画の説明

お問合せ先
農林水産部　農政課
☎098-866-1627

農林水産部 No.6 仕事の窓

「お米について」消費者webセミナーを開催しました！

沖縄総合事務局では、「食」に対する消費者の信頼が得られることを目的に、食品の安全性をはじめとした情報を幅広く提供しています。その取組の一環として、令和7年3月15日、5月27日の2回にわたり「お米について」消費者ｗｅｂセミナーを開催しました。

第1回のセミナーでは、「お米について～いつも食べているお米ができるまで～」と題し、沖縄県内の米卸販売事業者のおきなわ米飯株式会社の方から、袋詰精米ができるまでの工程、お米の保存方法などについてご講演いただきました。その中で、沖縄は気温や湿度が高いため、お米を長期間保存すると品質が劣化するなど、日頃気をつける点などの有益な情報もいただきました。

続いて、第2回は、「お米の良さを見直そう」と題し、沖縄大学健康栄養学部教授で管理栄養士の下地みさ子氏を講師に招き、お米の栄養成分や魅力についてご講演いただきました。

お米は食パンに比べたんぱく質が良質であり脂質が少ないため、食事バランス（ＰＦＣバランス：Ｐ（たんぱく質）、Ｆ（脂質）、Ｃ（炭水化物））の良い献立が作りやすい旨のご説明をいただきました。

また、お米の魅力として、お米は切り餅や米粉、ライスペーパーなどに加工して保存できることに加え、お餅はごはんに比べ水分が少なく糖質が多いため、腹持ちが良く感じること、さらに冷蔵庫の残り物をライスペーパーで包んで食べれば、食品ロスも減る旨のご説明をいただきました。

当局では今後も食品に関する情報を消費者ｗｅｂセミナー等で幅広く提供したいと考えておりますので、当局ＨＰやＳＮＳをご覧ください。なお、これまで開催した消費者ｗｅｂセミナーは、当局ＹｏｕＴｕｂｅで配信しております。

お問合せ先
農林水産部　消費・安全課
☎098-866-1672

食事バランスの評価

栄養素の分類			主な機能 エネルギー産生	身体構成成分	生体調節機能
エネルギー産生栄養素		糖質	○	△	
		脂質	○	○	△
		たんぱく質	○	○	○
エネルギー非産生栄養素	ビタミン	水溶性ビタミン			○
		脂溶性ビタミン			○
	ミネラル	多量ミネラル		○	○
		微量ミネラル		○	○

理想的なＰＦＣバランス
エネルギー産生栄養素のエネルギー比

Protein（たんぱく質）	15%（13~20%）
Fat（脂質）	25 %（20~30%） 不飽和脂肪酸＞飽和脂肪酸
Carbohydrate（炭水化物）	60 %（50~65%）

PFCバランスを満たす食事は、けっこう難しい。。。

お米を主食にするとバランスの良い（PFCバランス）献立を作りやすい

農林水産部 No.7 仕事の窓

沖縄黒糖の消費拡大に向けて

～ 沖縄の自然の恵みがぎゅっと詰まった 8島の沖縄黒糖 ～

沖縄の特産品として名高い沖縄黒糖ですが、その原料となるさとうきびは、沖縄の全耕地面積の約5割を占めるとともに、農家の約7割が栽培する沖縄県を代表する農作物です。

　実は、沖縄で栽培されているさとうきびの全てが沖縄黒糖の原料となっているわけではなく、その約9割は上白糖などの原料(粗糖)になります。伊平屋島、伊江島、粟国島、多良間島、小浜島、西表島、波照間島、与那国島の8つの島で栽培されるさとうきびだけが、各島にある製糖工場に運ばれ、その絞り汁をそのまま煮沸濃縮・冷却し、沖縄黒糖となります。沖縄のさとうきびは、サンゴ礁からなる大地で強い日差しと潮風によって運ばれる海からのミネラル分をたっぷり浴びて育つため、これらを原料とする沖縄黒糖は風味豊かでコクのある甘さや、鉄分、カルシウムといった機能性成分が豊かなものとなります。また、8島ごとの土壌や気象条件等の違いから味、香り、食感も少しずつ異なる特徴があります。

　沖縄県、関係市町村、沖縄県黒砂糖協同組合、JAおきなわ等の関係機関で構成する沖縄県含みつ糖対策協議会では、新黒糖(その年に収穫されたさとうきびを原料とする黒糖)の旬にあたる5月10日(黒糖の日)から9月6日(黒の日)までを黒糖消費拡大キャンペーン期間に設定し、沖縄黒糖の消費拡大に向けた各種取組を行っています。

　沖縄の自然の恵みがぎゅっと詰まった8島の沖縄黒糖は、そのままおやつとして食べるだけでなく、カレーなどの料理の隠し味や調味料として使ったり、おうちでのラテづくりに粉黒糖をひとふりしてカフェ気分を味わうなど、日常に「黒(コク)」を与えてくれるアイテムです。

サンエー那覇メインプレイスで行われた「黒糖の日」セレモニー

みなさま、この機会に自然の恵み豊かな8島に思いを馳せながら沖縄黒糖を食してみてはいかがでしょうか。

お問合せ先
農林水産部　生産振興課
☎098-866-1653

沖縄黒糖がつくられる8島と黒糖を活用した料理など

カーボンニュートラルに向けた取組

～沖縄における水素社会の幕開け～

FCフォークリフト充填実演

式典集合写真

水素充填システム実証事業開始式（株式会社沖電工）

令和7年5月20日、（株）沖電工中城湾事業所において、「水素充填システム実証事業開始式」が開催されました。

同社では、令和6年度から沖縄総合事務局の沖縄型クリーンエネルギー導入促進実証事業費補助金を活用し、安定的かつ安価なエネルギーとして水素普及の実証事業を実施しております。一般的な水素ステーションの水素の充填圧は70MPa（メガパスカル）に対し、同社では、35MPaとし、水素モジュールタンク圧を利用した動力不要なシステム構築を行いました。FCフォークリフトへの水素充填などのデモンストレーションが行われました。FCフォークリフトは、既存のフォークリフトに比べ、音や振動、排気ガスがなく、作業環境に優れています。

今年度は構築した水素充填システムの水平展開を見据え、那覇空港での実証も予定しています。

水素ステーション実証開始式（株式会社りゅうせき）

令和7年5月30日、浦添市西洲（卸団地SS）において、（株）りゅうせきによる「水素ステーション実証開始式」が開催されました。同社は、令和5年度から当局の沖縄型クリーンエネルギー導入促進実証事業費補助金を活用し、カーボンニュートラルの重要性を認識し、環境貢献と新たなエネルギー供給を目的に、既設のガソリンスタンドでFCVやEVへもエネルギー供給が可能なマルチステーションの構築を目指しています。

同社では、水素社会黎明期の沖縄での水素普及を目指し、沖縄トヨタ自動車株式会社などの協力を得て、製造から充填までの様々なオペレーションを試行錯誤し、安全、安定的かつ効果的なオペレーションの方法を検証します。

同社の水素ステーションは、コストを抑えた移動式水素ステーションを採用し、供給する水素も再生可能エネルギーを用いたグリーン水素を自社で製造を行います。

テープカット

水素自動車への充填

この2つの取り組みが、沖縄における脱炭素化を加速させることを期待しております。当局としましても企業の皆様のチャレンジを後押しすべく、引き続きサポートしていきます。

お問合せ先
経済産業部　エネルギー・燃料課
☎098-866-1759

経済産業部 No.9 仕事の窓

【官民共創】地域課題解決型スタートアップ支援事業
～自治体職員向けグループワーク～

沖縄総合事務局では、県内の自治体とスタートアップ企業が連携・共創した実証プロジェクトを推進し、地域課題の解決・スタートアップ企業の県内定着を目的とした「沖縄型スタートアップ拠点化推進事業（地域課題解決型スタートアップ支援事業）」を実施しています。

本事業のはじめの一歩として、令和7年5月22日・23日の二日間、㈱ソーシャル・エックスの伊藤大貴代表取締役を講師としてお招きし、自治体職員向けに「企業と共創する、地域課題の抽出」と題したグループワークを中北部会場（沖縄市ＩＴワークプラザ）と那覇会場（沖縄総合事務局）にて開催しました。自治体における地域課題をざっくばらんに出し合い、実現に向けたレベル感に応じたカテゴリー分けを行いました。グループワーク終盤は、どういった課題が行政と企業の連携（官民共創）で取り組めるのかを考える時間とし、二日間において活発なグループワークとなりました。

課題のグループ化を行う自治体職員

講師の話を真剣に聞く自治体職員

お問合せ先
経済産業部　企画振興課
☎098－866－1727

経済産業部 No.10 仕事の窓

中城村と保育人材確保の課題に挑戦するスタートアップ企業が連携協定を結びました

沖縄総合事務局では、地域課題を抱える県内自治体とその課題を解決するスタートアップ企業をマッチングし、実証実験へ繋げる取組を実施しています。

この度、保育人材の確保という課題解決を目指す中城村と、令和6年度「官民共創型アクセラレーションプログラム」で審査員特別賞を受賞したエンパワー・サポート（株）（本社：石川県金沢市）がマッチングし、連携協定を締結した上で実証実験を行うこととなりました。実証実験では、同社の保育施設と潜在保育士をつなぐマッチングサービス「ちょこっとほいく！」プラットホームを活用し、潜在保育士の掘り起こしと、短時間から可能な就業マッチングにより、保育士の復帰を促進し、地域の保育人材確保の課題解決に取り組んでまいります！

連携協定調印式の様子

「ちょこっとほいく！」の仕組み

お問合せ先
経済産業部　企画振興課
☎098－866－1727

開発建設部 No.11 仕事の窓

国道331号南城市久手堅地区の無電柱化整備が完成しました！

令和7年3月に、国道331号南城市久手堅地区において無電柱化整備が完成しました。併せて歩道整備を行いましたので事業着手から完成までの取組を紹介します。

【位置図】

無電柱化事業

当該地区を含む国道331号は、防災上重要な第二次緊急輸送道路であると共に、当該路線付近には南城市地域防災計画により緊急避難場所に指定されている知念体育館、南城市知念社会福祉センター等があり、緊急時の地域防災上重要なエリアとなっています。台風等の災害時に電柱の倒壊を防止し、避難路及び緊急車両の通行を確保することで速やかな避難、復旧を図ることを目的として、国道331号久手堅地区電線共同溝事業が平成28年度に事業化されました。

世界文化遺産である斎場御嶽（せーふぁうたき）周辺の防災性の向上、良好な景観形成を目的として電線共同溝整備を行い、令和4年12月に電線共同溝工事を完成し、令和7年3月に電線類の地中化、架空線の撤去、電柱16本の抜柱が完了しました。

整備後（国道 331 号）

併せて南城市において国道331号から斎場御嶽までの市道の無電柱化も今夏完成に向け整備が進んでいるところです。

斎場御嶽へのアクセス道（市道）

歩道整備事業

当該地区は世界文化遺産の斎場御嶽や、がんじゅう駅（南城市地域物産館）、知念岬公園等が隣接する、南城市の主要な観光地であり、観光客を主とした歩行者が多い特徴があります。観光客が多いなか、歩道幅員が狭い区間や、歩道未整備区間があるため、歩行者の車道路肩の通行や、横断歩道以外の箇所での乱横断が発生していました。そのため歩行者の安全性確保を目的とし平成31年度に、久手堅地区歩道整備事業が事業化されました。

上下線の歩道幅員を拡幅し、海側の一部区間は張出歩道を用いて幅員を確保しました。

歩道部には、歩行者保護と乱横断防止対策を兼ねて車両用防護柵を設置し、海側の眺望を楽しむことができる区間には透過性の高いデザインで、安全性に配慮したワイヤーロープ式の転落防止柵を設置しました。

ワイヤーロープ式の転落防止柵

南城市との連携

世界文化遺産周辺の景観への配慮を目的として南城市と連携し、電力地上機器へ観光案内図等のラッピングを行いました。今回の整備により、防災性の向上、交通安全の確保、良好な景観が形成され、観光拠点として更なる地域の活性化が期待されます。

電力地上機器へラッピング

問合せ先
南部国道事務所　管理第二課
☎098-861-9384

開発建設部 No.12 仕事の窓

ダムまつりを開催します！森と湖に親しむ旬間（7月21日～31日）

森と湖に親しむ旬間

国土交通省及び林野庁では、毎年7月21日から31日までの期間を「森と湖に親しむ旬間」と定めています。この旬間は、昭和62年度より開始され、国民の皆さまに森や湖に親しむ機会を提供することにより、心身をリフレッシュしながら、森林やダムなどの重要性について関心を高め、理解して頂くことを目的としています。

ダムまつり

「森と湖に親しむ旬間」の一環として沖縄県内においても、ダムや水源地等の重要性について広く理解いただくとともに、ダム所在地域の活性化に寄与することを目的に、県内各地でダムまつりを開催しています。

令和7年度のダムまつりは、県内6つのダムにおいて開催を予定し、5月4日、5日には羽地ダムまつりが開催され多くの方にご来場いただきました。引き続き7月以降も各地でダムまつりを予定しており、ダム管理者による施設案内や各ダムまつり実行委員会による各種体験など、さまざまなイベントを予定していますので、皆さまのお越しをお待ちしています。

こいのぼり（羽地ダム）

消防体験（漢那ダム）

監査路見学（羽地ダム）

川遊びの家族連れ（倉敷ダム）

第２貯水池見学（漢那ダム）

カヌー体験（漢那ダム）

※沖縄本島内のダムまつりの情報はこちら
https://www.dc.ogb.go.jp/toukan/tourism/event.html
「森と湖に親しむ旬間」連絡会議事務局
(沖縄総合事務局 開発建設部 河川課)

お問合せ先　河川課　☎０９８－８６６－１９１１

運輸部 No.13 仕事の窓

令和７年度陸運及び観光関係沖縄総合事務局長表彰式が行われました

５月14日、那覇市内のホテルにおいて、令和７年度陸運及び観光関係沖縄総合事務局長表彰式が行われました。

本表彰は、陸運及び観光関係事業に従事する役員、職員で当該事業に対する功績が顕著であった方、また、永年にわたり業務に精励し、勤務成績が優秀な方等に対し、毎年表彰を行うものです。

今回の表彰では、事業功労者として陸運関係事業の役員３名と職員１４名が、優良業績者として１名が、さらに一般協力者として１事業者がそれぞれ表彰されました。

武富運送の長嶺氏は受賞者代表の謝辞で、「本日の受賞を契機に、なお一層研鑽を重ね、業界の良き指導者として精進するとともに、社会の信頼に応えられるようそれぞれの業務に精励し、事業の限りない発展に尽力して参る所存でございます。」と述べました。

受賞者の皆様と三浦局長

事業功労者表彰

【役員の部３名・職員の部14名】
（敬称略、順不同）

事業役員

沖縄西濃運輸株式会社　上原　勇人
武富運送　長嶺　安浩
大阪自店　高江洲　恵喜

一般従業員

ニッポンレンタカー琉球株式会社　上原　真樹
沖縄県自動車整備商工組合　西原　均

自動車運転者

那覇バス株式会社　宮平　政隆
那覇バス株式会社　大城　孝
那覇バス株式会社　玉那覇　勝正
那覇バス株式会社　浜　信一
株式会社琉球バス交通　神谷　昌義
株式会社琉球バス交通　名護　朝助
東陽バス株式会社　金城　敏幸
東陽バス株式会社　當眞　嗣治
東陽バス株式会社　比嘉　潤弥

自動車整備士

平良板金整備工場　平良　克博
株式会社北部自動車工業　上原　則勝
株式会社浜川モータース　比嘉　政吉

表彰式の様子

優良業績者表彰

運行管理者

株式会社ひかり物流　上間　毅

一般協力者表彰

大典寺

受賞者代表者による謝辞

お問合せ先
運輸部　陸上交通課
☎098-866-1836

運輸部

仕事の窓 No.14

たのしい親子自転車サイクリング体験！

～那覇第2地方合同庁舎初の休日開放～

5月5日（こどもの日）に（一社）沖縄県サイクルスポーツ振興協会の主催による「たのしい親子自転車サイクリング体験」が那覇第2地方合同庁舎の敷地で行われました。

当日は、時折小雨が降る天候でしたが、6組の親子（子供10名、大人6名）が参加しました。

講師は、オリンピアン（リオ五輪自転車男子ロードレース日本代表）の内間康平さんが務め、はじめにブレーキなどの自転車の基本動作を習い、練習として一本橋（幅10㎝のマットの上を走行）とスラローム（一列に並んでいるカラーコーンを左右交互に通過）に挑戦しました。

続いて、枠内走行等で交通ルールの基礎である譲り合いを学んだのちに、庁舎の敷地外に出て那覇新都心地区を約2㎞サイクリングしました。

参加者からは、「道路を走れると思っていなかったから、とても楽しかった」や「子供とのサイクリングは初めてだったので、いい思い出になった」などの反応があり非常に好評でした。

庁舎の玄関前で記念撮影（Photo : compo de ring）

みんなでサイクリング

お問合せ先
運輸部　観光課
☎098－866－1812

おしごと紹介

南部国道事務所・調査第二課の金城です。

私は国道の調査等を担当しており、道路の計画から完成まで携わる仕事をしています！直接現場（写真は現在建設中の小禄道路です）を見ることもあるので事業に関わっていることを実感しながら充実した日々を過ごしています！

また、昼休みには上司とキャッチボールをしたりとても楽しい職場です♪

興味がある方は、ぜひ一度、採用担当Xをご覧ください！

採用担当 X ▼

採用担当のひとこと

沖総局の採用担当、崎山です。

毎年7～8月は大卒採用試験の面接時期です‼

国家公務員の採用活動も多様化しており、IT系や土木・建築の経験者採用や、高卒・社会人採用など、様々な職種の採用も行っています♪

採用情報HP ▼

内閣府沖縄担当部局では、「かりゆしウェア」の普及・促進に取り組んでいます。

「かりゆしウェア」贈呈式

令和7年5月20日、総理大臣官邸において、石破総理、林官房長官、伊東沖縄担当大臣が、沖縄県から「かりゆしウェア」の贈呈を受けました。

※伊東大臣には、OKINAWA41「かりゆしウェアテキスタイルデザインコンテスト2024」最優秀作品である「赤サンゴ」を基に制作された「かりゆしウェア」が贈呈されました。

「かりゆし閣議」

令和7年6月3日、全閣僚が「かりゆしウェア」を着用する、「かりゆし閣議」が開催されました。石破総理、林官房長官、伊東沖縄担当大臣は、5月20日に沖縄県から贈呈された「かりゆしウェア」を着て出席しました。

「沖縄物産展」

令和7年5月29日、内閣府庁舎内で「沖縄物産展」が開催され、「かりゆしウェア」をはじめ、様々な沖縄物産品の販売が行われました。

サプライヤー募集

日本最大級の「食」の国際商談会

13th 沖縄大交易会

国際食品商談会2025

リアル商談会×オンライン商談

全国の特産品を沖縄からアジアへ 約20億人以上の巨大マーケット

リアル商談会

参加希望のサプライヤーは実行委員会事務局が開催する「選定会」を経て、参加確定となります。

開催日程
2025年11月20日(木)～21日(金)

募集期間
2025年4月18日(金)～7月18日(金)

参加料
198,000円(税込)

本商談会は沖縄県からの負担金を活用して運営している事から、沖縄県内に本店、または支店登記がある事業者(個人事業者は住所を沖縄県内に有しているもの)の参加料は**126,500円(税込)**と致します。

開催規模
サプライヤー 230社　バイヤー 230社

商談会場
沖縄コンベンションセンター

オンライン商談

気になるバイヤーとリアル商談会前後にオンラインで商談が可能!!

開催日程
2025年8月1日(金)～12月19日(金)

オンライン商談は、バイヤー&サプライヤー双方の拠点にてWeb会議システムを使用して商談を行います。

沖縄大交易会の紹介動画

お申し込みはコチラ!

http://www.gotf.jp/ 大交易会 検索

沖縄大交易会のホームページよりお申込み頂けます!

【主　催】沖縄大交易会実行委員会

お問い合わせ
13th 沖縄大交易会2025 マッチングデスク
(合同会社アクトリアライズ 内) 担当／和田、宇賀神(うがじん)
〒107-0052 東京都港区赤坂3-11-15 VORT赤坂見附4階
TEL: 050-5783-1785(土日祝日を除く、9時30分～17時30分)
E-mail: supplier_okinawadaikouekikai@agriglobaldesign.info

水上オートバイに乗る時は忘れないで!

人がいるところでは遊ばない!

- 遊泳者等の近くで疾走したり、急回転したり、ジグザクに航行したりするのは非常に危険です。
- 海水浴場などの人がいる水域を避けて遊びましょう。

■ 危険操縦の禁止(注1)

お酒を飲んだら操縦しない!

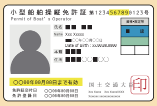
- 少しのお酒でも、操縦に影響を与えるおそれがあります。
- 「飲んだら乗らない」を心がけてください。

■ 酒酔い等操縦の禁止(注1)

無免許者には操縦させない!

- 水上オートバイの操縦には、特殊小型船舶操縦士の免許が必要です。
- 免許者が同乗していても、無免許者は操縦できません。

■ 無免許操縦の禁止(注1)



ライフジャケットを着用する!

- 船長にはすべての乗船者にライフジャケットを着用させる義務があります。
- 国が安全性を確認した証である 桜マーク があるライフジャケットを着用しましょう。

■ ライフジャケットの着用(注2)

詳しくはホームページへ

注1　違反した場合、違反点数が付与されるほか、免許停止等の処分の対象となる場合があります。また、人を死傷させた場合は、刑事罰の対象となる可能性もあります。
注2　違反した場合、上記同様に処分の対象となる場合があります。
※　このほかにも、見張りの実施、発航前の検査及び事故時の人命救助が義務付けられています。

船舶番号等は、航行中でも見やすい場所に表示しましょう!!

※船舶番号や船舶検査済票は両船側の船外から見やすい場所に表示しなければなりません。船体の後部は、波や水しぶきで見えづらくなってしまいます。

国土交通省

Muribushi 群星（むりぶし）
2025 7月8月号
広報誌／第420号 編集・発行／内閣府沖縄総合事務局総務部総務課 広報室
〒900-0006 沖縄県那覇市おもろまち2丁目1番1号 TEL.098-866-0031(代表)

2025年「海の日」ポスターコンクール　大賞　西山 侑良

海の月間 7/1～7/31

海がつなぐ世界と未来。
海の日

国民の祝日「海の日」海事関係団体連絡会　［事務局］（公財）日本海事広報協会　TEL.03-3552-5031　FAX.03-3553-6580

【連絡会構成団体】
（一社）日本船主協会／（公財）日本財団／日本内航海運組合総連合会／（一社）日本造船工業会／（公社）日本港湾協会／（一社）日本港運協会／（一社）日本倉庫協会／（一社）日本旅客船協会／（公財）海上保安協会／全日本海員組合／（一社）大日本水産会／（公社）日本海洋少年団連盟／（一社）日本外航客船協会／（一社）日本船長協会／全国海友婦人会／（一社）日本冷蔵倉庫協会／（公社）日本海難防止協会／（一財）日本水路協会／（公社）日本水難救済会／（公社）燈光会／（公社）日本観光振興協会／（一財）運輸振興協会／（一社）日本海事代理士会／（公財）海技教育財団／（一社）日本マリーナ・ビーチ協会／（公財）日本海事センター／（一財）日本海洋レジャー安全・振興協会／（公財）日本海事広報協会

後援：国土交通省／総務省／文部科学省／海上保安庁／気象庁／観光庁／水産庁